

○第4次千葉県青少年総合プラン指標案（1月30日現在）

※掲載計画は現行の他計画での掲載状況です。

「総」は総合計画、「子」は子ども・子育て支援プラン、「教」は教育振興基本計画でそれぞれ掲載。

柱	基本目標	基本方針	通番	新規	指標名（案）	現状値 （基準年）	目標値 （令和9年度末）	掲載計画	担当課
I	1	①	1		朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合	小学校6年生94.1% 中学校3年生90.8% (R4年度)	全国平均以上かつ増加を 目指します		教)保健体育課
I	1	①	2	○	小学校における新体力テストの平均点	47.3点 (R3年度)	50.0点	総、子、教	教)保健体育課
I	1	②	3	○	将来の夢や希望を持っている児童生徒の割合	小学校 80.6% 中学校 66.4% (R4年度)	全国平均以上かつ増加を 目指します	総	教)学習指導課
I	1	②	4		授業で、話し合い活動がしっかりできていると考えている児童生徒の割合	小学校 79.5% 中学校 77.5% (R4年度)	全国平均以上かつ増加を 目指します	教	教)学習指導課
I	1	②	5	○	全国学力・学習状況調査の平均正答率	小学校国語 66.0% 小学校算数 62.0% 中学校国語 68.0% 中学校数学 50.0% (R4年度)	全教科で全国平均正答率以上 を目指します	総	教)学習指導課
I	1	③	6	○	組織的・継続的な研修を行っている学校の割合	小学校 96.9% 中学校 98.4% (R4年度)	全国平均以上かつ増加を 目指します	教	教)学習指導課
I	1	③	7	○	児童生徒のICT活用を指導できる教員の割合	73.6% (R3年度)	100%	教	教)学習指導課
I	2	④	8	○	幼・小・中・高等学校において作成した「個別の教育支援計画」を学年間、他校種への引継ぎ資料として活用した割合	70.9% (R4年度)	92%	総	教)特別支援教育課
I	2	④	9	○	幼・小・中・高等学校において作成した「個別の指導計画」を学年間、他校種への引継ぎ資料として活用した割合	73.2% (R4年度)	92%	総	教)特別支援教育課
I	2	⑤	10	○	地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合	小学校 51.2% 中学校 37.9% (R4年度)	全国平均以上かつ増加を 目指します		教)学習指導課
I	2	⑥	11		職場体験・インターンシップを実施している公立学校の割合	中学校 18.9% 高等学校 33.3% (R3年度)	中学校 100% 高等学校 100%	子	教)学習指導課
II	3	⑦	12	○	スクールカウンセラー（SC）及びスクールソーシャルワーカー（SSW）の年間配置時間総数	SC 116,882時間 SSW 27,235時間 (R3年度)	増加を目指します	総	児童生徒安全課
II	3	⑧	13	○	学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合	小中学校 41.5% 高等学校 42.6% (R3年度)	全国平均以下かつ 減少を目指します	総、子、教	児童生徒安全課

○第4次千葉県青少年総合プラン指標案（1月30日現在）

※掲載計画は現行の他計画での掲載状況です。

「総」は総合計画、「子」は子ども・子育て支援プラン、「教」は教育振興基本計画でそれぞれ掲載。

柱	基本目標	基本方針	通番	新規	指標名（案）	現状値 （基準年）	目標値 （令和9年度末）	掲載計画	担当課
Ⅱ	3	⑧	14	○	本県のいじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合	78.7% (R3年度)	国と同程度（±1%）の 解消率を維持します	教、子	児童生徒安全課
Ⅱ	3	⑨	15	○	短期入所事業所数（障害のある子どもを受け入れる事業所）	143箇所 (令和3年度)	152箇所以上を目指します	子	障害福祉事業課
Ⅱ	3	⑩	16		生活保護を受けている子どもの高等学校等進学率	91.3% (令和3年3月卒業者)	県全体の高等学校等進学率に 近づけます	子	健康福祉指導課
Ⅱ	4	⑪	17	○	スクール・サポーターが訪問した中学校の割合	100% (R4年度)	100%		警) 少年課
Ⅱ	4	⑫	18	○	里親等委託率	31.5% (R3年度)	37.9%	総、子	児童家庭課
Ⅲ	5	⑬	19	○	生徒の卒業段階における英語力（中 CEFR A1レベル、高 CEFR A2レベル）	中学校 52.0% 高校 42.0% (R3年度)	中学校 60.0%以上 高校 60.0%以上	教	教) 学習指導課
Ⅲ	6	⑭	20	○	国体入賞	天皇杯7位入賞 皇后杯10位	天皇杯上位入賞 皇后杯入賞	体育・スポーツ推 進計画	競技スポーツ振興課
Ⅲ	6	⑭	21	○	新規就農者数	377人 (R3年度)	450人	総	担い手支援課
Ⅳ	7	⑮	22	○	【再掲】スクールカウンセラー（SC）及びスクールソーシャルワーカー（SSW）の年間配置時間総数	SC 116,882時間 SSW 27,235時間 (R3年度)	増加を目指します	総	児童生徒安全課
Ⅳ	7	⑮	23	○	青少年相談員の定員に対する充足率	94.3% (R4.4.1)	100%		県民生活課
Ⅳ	7	⑯	24		青少年相談員が地域において実施する取組への青少年の参加者数	32,031人 (R3年度)	16万人以上		県民生活課
Ⅳ	7	⑰	25	○	コミュニティ・スクールを導入した学校の割合	17.8% (R4年度)	全国平均以上	教	教) 生涯学習課
Ⅳ	8	⑱	26	○	児童生徒の登下校時における交通事故死傷者数	死傷数636人 (R3)	死亡者をなくし、負傷者は 減少を目指します	教	教) 児童生徒安全課
Ⅳ	8	⑲	27	○	小中学生の保護者向けにインターネット適正利用啓発講演を実施している市町村数	19市町村 (R3年度)	54市町村	総	県民生活課
Ⅳ	8	⑳	28	○	地域子育て支援拠点の数	346箇所 (R4.3.31)	362箇所以上を目指します	子	子育て支援課
Ⅳ	8	㉑	29	○	保育所等の待機児童数	250人 (R4.4.1)	0人	総、子	子育て支援課